岩盤ボーリング柱状図

調査名	その他河川天地川支川１　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	支川1-2-No.4	調査位置	広島県安芸郡坂町小屋浦4丁目	北緯	34° 18′ 35.3000″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	2020／12／ 4～2020／12／ 5	東経	132° 30′ 41.4000″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 78.31m	角度	180° 上 90° 下 0° / 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	5.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-D / エンジン：(株)ヤンマー製 NFD-10 / ポンプ：東邦製BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
1				礫混じり砂	茶褐～黒茶							[0] 2 (100)	中～細砂主体。礫はφ2～5mmの亜角礫主体で，しばしばφ10～20mm，最大φ40mm程度の花崗岩礫を含む。GL-2.5m付近まで全体的に木片を混入する。GL-2.8m付近，薄層状に粘性土優勢となる。	
2														
3	75.39	2.92		花崗岩	淡灰褐	w3	h2	B	Ⅲ	b	CM	15 [41] (100)	硬質な粗粒花崗岩。岩級区分はCM級を呈する。片状～柱状コアで採取される。縦亀裂の発達が顕著である。GL-3.7m付近，部分的に脆弱である。ハンマー軽打により金属音を発する。	12/4 2.90 3.30
4												12 [12] (100)		
5	73.31	5.00												
6														
7														
8														
9														
10														

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
4	1.15	4 / 300		
	1.45			
4	2.15	4 / 300		
	2.45			
50以上	3.00	貫入不能		
50以上	4.00	貫入不能		
50以上	5.00	貫入不能		

原位置試験：

室内試験：

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
	390	66／ケーシング	打込み／W／D	0	0	0	W3 0	0
12/4	360			40 50	100 150	0	W3 10	10
				150	150			
12/5		66	″	250	150	0	W3 11	11